



校長室だより

校長 山崎 聡子

新児童会の言葉

前々回・前回に引き続き、新児童会として承認された現4年生の言葉を紹介します。

.....

【新役員】

わたしは、全校児童のみなさんが学校を楽しくすごせるように全力をつくしたいと思います。たとえば、あいさつ運動のような活動で、もっと児童どうしの交流を深められるような活動をしたいと思います。これから一年間よろしくお願ひします。

【新役員】

私は児童会に参加して児童みんなが楽しく過ごせる相東小にしていきたくと思います。そして、個性、多様性を認め合える学校にしたいです。そのために、意見箱を設置したり、学年を超えてレクリエーションをしたりできたらいいなと思います。一年間よろしくお願ひします。

【新役員】

僕は、学校をより良くするために笑顔であいさつをしたり、児童の皆さんが学校を楽しい場所と思えるようにしたりすることをがんばります。僕は、今年度行った思いやりの木を継続したいと思っています。なぜなら、それが始まって、笑顔が増えたので、来年度も増やしたいと思ったからです。これから一年間よろしくお願ひします。

.....

今まで学校の中心となって活躍していた児童会の人たち、そして、児童会を支える全校

の子供たちの思いや行動、言葉がたくさんありました。新児童会の人たちを中心にしながら全校の力が大きなものになっていくように、今後も子供たちを支えていきたいと思っています。

大縄大会

大縄大会に向けて、クラスごとに練習に励んでいます。「縄跳びを通して体づくりを図り、クラスの親睦を深める」ということを目的にして、取り組んでいる大縄大会ですが、すばらしい姿をたくさん見せてくれています。先週は1年生から4年生が実施し、今週は5・6年生の大会が予定されています。

実施した学年の子供たちの振り返りを読ませてもらいました。「仲間と気持ちを一つにすること」「諦めないこと」「自分に勝つこと」「仲間のために自分が頑張ること」「これからの自分に自信をもつことができたこと」「自分に誇りをもつことができたこと」「これからも挑戦していきたいこと」など、すてきな思いが表現されていました。大縄大会を通して、子供たちが考えたり感じたりしたことは、生きる力として子供たちの中に蓄えられていくのではないかと思います。

ふりかえりの一つを紹介します。

わたしは、引っかかっちゃった子がいても、その子の分までがんばることを学びました。

理由は、引っかかっちゃった子がいても、みんなで早まきして、その子の分までがんばったから524回をたっせいできたんだと思います。ですので、これからも、大なわいがいのことでも、しっばいしちゃった子がいたら、その子の分もがんばりたいです。あと先生の話聞きいてじしんがつかまりました。